

除雪 冬の道路確保

二月に入り雪の日が増えてきました。そこで、町では例年のように住民の通勤・通学や日常生活に支障がないよう道路除雪と防災対策について体制を整えていきます。

また、これからは交通事故や火災の発生しやすい時期にも入りますので十分注意をしてください。

「路上駐車は除雪の大敵」

道路除雪を妨げる一番の原因が路上駐車です。一台の車が駐車してあるだけで、地域全体に除雪ができなくなる場合があります。道路除雪が速やかにできるよう皆さんのご協力をお願ひします。

また、危険ですから作業中の

「雪下ろしは早めに、下ろした雪は各自で後始末を」

屋根の雪は、家屋の倒壊を考慮して、早めに下ろすようにしてください。

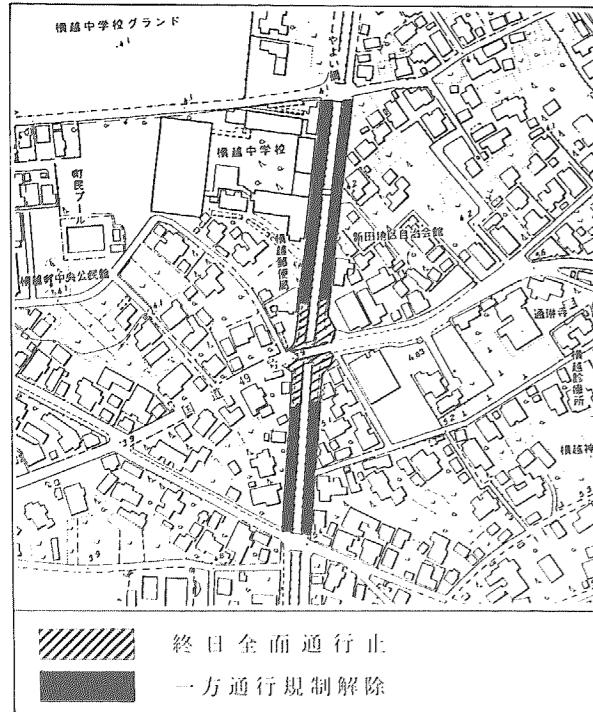
「生け垣、樹木の枝下ろしを」

道路際の生け垣、樹木の枝が雪の重みで道路に垂れ下がり除雪作業に大変迷惑がかかります。雪の降る前に枝切りをしておいてください。

除雪計画路線

路 線		除雪作業者
町	主要幹線	町有機械で除雪業者に 貸与委託
道	地区内道路	業者に委託
國	道 49 号	建設省で除雪
県	道	県で除雪

に利用を」
大雪になると雪捨てに困ります。特に、家並みの混んでいる地帯では、宅地の空き地あるいは畑などを支障のないよう雪捨て場に利用させていただくよう協力をお願いします。



橋の拡幅工事を実施
通行規制にご協力を

十二月中旬から三月二十日頃までの予定で、阿賀用水路に架かる橋の拡幅工事をします。これにより工事期間中、図のように一部通れなくなる所があります。
国道四十九号は信号機による終日（昼・夜）片側交互通行となり、町道一号阿賀用水添は橋課まで（☎ 385-12111）
側共、終日（昼・夜）全面通行止めとなります。また現在、一方通行規制となっている所は規制を解除し、対面通行になります。（この区間は除雪を行います）
詳しいことは、役場建設企業課まで（☎ 385-12111）

わたしの横越町 思いさまざま (シリーズ②)



川根谷内
山口久美子

町への思い

私は9年前、横越へ両親と共に引っ越ししてきましたが、仕事の都合で、すぐにこの地を離れ腰をすえて住み始めたのは、今年1月よりの事であります。まだ、右も左も判らない横越ですが、この「村」が「町」に変わる事によって、今までの知らない歴史が、圧縮されたように耳に入り、そしてこれから歴史の中に、自分の存在があるという事を、大変嬉しく思っております。この機会を期に、町も有るが時代ではなく築かれる時代と、移ってゆくものと感じますので、より質の高い住み良い町になるよう、医療機関・福祉施設の向上を願い、公共施設・交通機関の活性化に努めてほしいと思います。

川根 谷内
山 口 久美子



山崎製パン(株)新潟工場長

2001年 時は2001年、いつも通り早朝の巡回を終え、ふと外を眺めると隣の二本木駅に列車が止まり木津工業団地に通う人達がぞくぞくと降りてくるところでした。横越山崎製パン㈱新潟工場長 白井 大 町となった5年前から各企業の進出が相次ぎ、今では近隣から横越町に通う人も多く、2年前にJRの駅も新設されました。人口も2万人を超え、亀田町と合併し亀横市になるとか、新潟市と合併する等の話も出ており、49号沿いには大手スーパーが進出し、周辺からも買物客が集まる様になりました。又、農業の効率化・機械化が進み、町特有の農産物も生産され近隣のモデル地区となる。こんな21世紀を夢見ています。



中2年 渡辺 智子

「村」が「町」になることでどうなるのか。私としては、名前だけが変わるのでなくて、その内容も変わっていってほしいと思う。町になるということは、それなりに人口も増加すると予想される。

中2年 渡辺 智子 そのために、家や店など多く建設される。町民のくらしが便利になるということも大切だけど、自然のことをもっと考えるべきだと思う。自然を大切にし、そして、町民のより住みやすい暮らしを考えるのが、今後の大きな課題といえる。

横越「村」から「町」へということを町民一人一人が理解し、そして、この横越をいつまでも支えていくことが大切だ。まだまだ課題は、たくさんあるけど、みんながもう一度、横越村を見直して、横越町への課題のヒントをみつけていくことが、横越がよりよい町になる第一歩だと思う。



小2年 由林

ぼくの生まれたよこごし村は、
11月1日によこごし町になります。
木津はバスがとおっていません。
だからバスが来るといいなあと
思いました。それからあたらし
い友だちがいっぱいきて、歩い
小2年 中林 瞬 ていける学校ができるといいな
あと思いました。あとホテルができてほしいです。かい
しゃもできるといいです。ゲームセンターもできるとい
います。

